

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、新津圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和4年6月2日（木）9時半から11時まで
参加者	委員：10人 事務局：5人 その他：8人（市役所・区役所・地域包括支援センター）
場所	新津協働センター ホール
内容	<p>1. 開会</p> <p>新任の生活支援コーディネーターより、自己紹介をした。 新任の委員3名と協議体の正副会長を紹介した。</p> <p>2. 挨拶 可新生活支援体制づくり協議体 会長</p> <p>3. 協議内容</p> <p>①これまでの振り返り</p> <p>生活支援コーディネーターより、昨年度の振り返りをした。 前任の生活支援コーディネーターより、前回の会議について報告をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠鉄ストアにおける商品の配達について <ul style="list-style-type: none"> <li>➡遠鉄ストアでは、個人宅への商品の配達サービスを実施していないとのこと。</li> </ul> </li> <li>・新津地区にてとくし丸をサロンに呼んだ様子</li> </ul> <p>②これからの方向性について</p> <p>生活支援コーディネーターより今年度の目標とスケジュールの案を提示した。 <u>目標：居場所を活用した買い物支援を進め、高齢者の閉じこもり防止へつなげよう</u></p> <p>③各地区の移動スーパーの現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（可美地区）サロンたかつかでの聞き取り結果 前任の生活支援コーディネーターより、サロンたかつかの利用者へ買い物について聞き取った結果を共有した。 ➡とくし丸を知っている人は、サロン参加者27名中3名にとどまったが、買い物に困っており利用したい人は6名いた。</li> <li>・（西区 庄内地区）館山寺町におけるとくし丸について 前任の生活支援コーディネーターより、西区館山寺町における移動スーパーの実施状況や実施に至る経緯などを共有した。</li> <li>・（浜北区 亀玉地区）亀玉地区社協の買い物支援について 生活支援コーディネーターより、浜北区 亀玉地区社協が実施している買い物支援について支援方法や立ち上げに至る経緯などを共有した。</li> </ul>

④意見交換 テーマ：居場所を活用した買い物支援について

〈可美地区〉

- ・買い物に対するニーズは高塚町北エリアが圧倒的に高い。可美団地内、高塚北集会所で開かれているサロンたかつかの利用者からも移動スーパーを利用してみたいという声がある。サロンたかつかの担当者もぜひとくし丸を呼びたいとしている。サロンたかつか（可美団地）にとくし丸を呼ぶのはどうか。
- ・可美団地にある「つどいの家たんぼぼ」にとくし丸を呼ぶという計画を1年ほど前にたんぼぼの方から聞いたことがある。確認してみると良いのではないか。
- ・可美団地の管理組合に話を通すと良いのではないか。
- ・まず地域の関係者を集め、可美団地にとくし丸を呼びたい経緯や他地区の事例などを説明すると良いのではないか。
- ・サロンたかつかの参加者だけでなく、高塚北集会所周辺の住民も含めて買い物できる機会にしていきたい。
- ・サロンのイベントのような形式でとくし丸を呼べば、普段サロンに来ていない人にもサロンを知ってもらう機会になると思われる。
- ・可美団地から実施し、他の町（若林町北周辺もスーパーがない）にも広げていくことができるか良いのではないか。
- ・若林町のMEGAドン・キホーテの階段下（屋内）が居場所になっている。

〈新津地区〉

- ・新津地区では、すでに3か所にとくし丸を呼んでいる。どんどんとくし丸を呼ぶ拠点を増やしていけば良いと思っている。
- ・とくし丸を呼ぶ場所は、地域をよりよく知る自治会へ呼びかけ、ニーズに応じた場所をピックアップしてもらい、そこから選んでいくのが良いと思われる。
- ・自治会に呼びかけるには、各自治会長に移動スーパーの必要性やとくし丸とは何かをまず知ってもらう必要があると考える。本日共有された、庄内地区や籠玉地区の事例などを自治会連合会の定例会などで話してもらおうと良いと思われる。
- ・買い物は主に女性がすることが多いと思う。帰りは重たい荷物を持ち帰るなど、実際に買い物をすることの多い女性の視点を取り入れる必要があると思われる。
- ・買い物の課題は、免許返納やバス路線の減少など移動手段が少なくなっていることや、高齢化による体力の衰えなどにより長距離移動ができなくなっていくこと、買い物をできる場所が少なくなっていることなど多様な面から生じている。課題解決のためには、一つの視点のみでなく多面的に考えることが大切だと考える。
- ・このように買い物の課題だけでなく様々な課題が実際に新津地区内に出ている。ただこの場で話し合うだけではなく、この状況を行政に声を上げ、しっかりと伝えていくべきだと考える。
- ・何事も一足飛びにはいかないため、順序だてて進めていく必要があると考える。

	<p>⑤情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠鉄バスのパーク&amp;ライドについて 遠鉄バスのバス停「中田島車庫」にて、パーク&amp;ライドのサービスができないかという会長からの事前の意見を受け、生活支援コーディネーターよりパーク&amp;ライドの説明と遠鉄バスの運輸事業部へ確認した結果を共有した。 ➡現在、そのような計画はないとのこと。また、パーク&amp;ライドの実施には土地の提供があるか、土地の権利問題、土地の環境維持、利用客の増加が見込めるかなど様々な課題をクリアする必要があるとのこと。</li> </ul> <p>4. 次回の協議体会議の日程について 日時：9月2日（金）9：30～11：00 会場：可美協働センター ホール</p> <p>5. 連絡事項 〈浜松市役所 高齢者福祉課より〉 「70歳現役都市・浜松」やらまいか型人生年齢区分が記載されたウェットティッシュを配布し、それについて説明した。</p> <p>6. 閉会 可新生活支援体制づくり協議体 副会長</p>
<p>今後の見通し等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンたかつか（可美団地）へ移動スーパーを呼ぶため、サロンの代表や可美団地の管理組合員、自治会などと連絡調整し、構想の説明や具体的な計画を進めるため話し合う機会をつくる。</li> <li>・新津地区にて移動スーパーの販売拠点を増やすため、自治連の定例会などで移動スーパーとはどのようなものか、その必要性などを説明する機会をもらい、移動スーパーの周知と具体的な場所の選定につなげる。</li> </ul>